

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	都市農村共生対流推進事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部	課等名	観光課		包含する細々目	1	6	1	3	22	2	
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	13 地域内産業の多様な連携											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等						
		事業期間	15	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	田舎志向の都市住民	体験ニーズのある都市住民の割合(%) (ラーニングパッケージアンケートによる)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	飯田の農村へのあこがれ(旅のニーズ増加)を喚起する	飯田志向者(アウトカムとして出せない)	18目標	最終目標		
			18実績	19目標	↑ 最終目標達成年度	
		23目標	23実績	最終目標達成年度		
		18目標	最終目標			
		18実績	19目標	↑ 最終目標達成年度		
		23目標	23実績	最終目標達成年度		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	7省庁連携で行う、都市と農山村の共生・対流推進の具現化事業。体験教育旅行の客誘致サポートやラーニングパッケージを南信州観光公社と連携し実施する。またふるさと便を活用した情報発信、「オーライ!ニッポン」の活用による一般客を農村へ迎える活動を展開する	「オーライ!ニッポン!」と連携したPR活動 公社との連携によるラーニングパッケージ(学びの休日)の実施 ふるさと便の発行、年2回各3,000部 簡易宿泊所資格取得業務委託	実施回数(回)	
	18年度の実績			
	19年度計画	ふるさと便の発行、年2回 社会人向け研修パンフレットの作成 25,000部 社会人向けパンフを活用した直接営業	実施回数(回)	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	2,000	2,000
事業費計(A)	2,000	2,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 400	19年度 400
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,430	1,430
	トータルコストA+B	3,430	3,430

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムツ指標)と単位	上位成果指標の数値			
	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり	観光消費額(円)	現状値	14500000	19実績	15000000
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
		経済自立度(%)	現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
国では、地方の活性化は地域オリジナルの観光しかない、7省庁連携で、都市と農山漁村との共生・対流推進会議を結成しPRをはじめた。現在、学生向けの教育旅行が伸長しているが、2年後にブームは終わる。市民を巻き込み盛り上がる交流事業を終結させることは大きなマイナスとなる。そこで農村への旅のニーズがある都市住民向けに、新たな戦略としてラーニングパッケージ等の事業展開を図る。また、企業の体験型研修として、誘致を図るため事業開始したい。	第1回オーライ！ニッポン大賞受賞(H16.2.25)メディアの対応増加による飯田市の露出	特になし

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がない (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

### 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	